



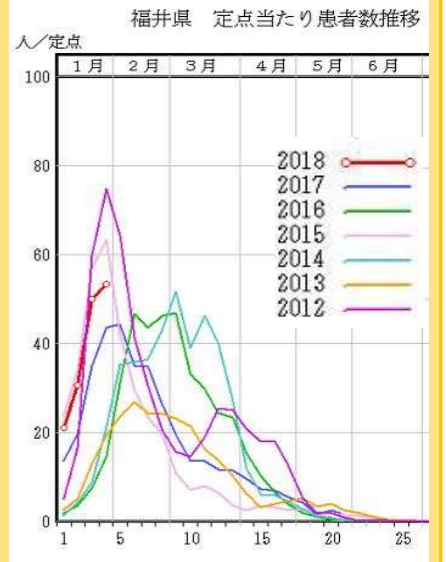
福 すくすく

No.22
平成30年
2月号

まだまだ寒い日が続く、先月からインフルエンザが流行し始めました。他の感染症にかからないためにも手洗い・うがいをしっかり行い予防に努めましょう。

感染症情報 つちだ小児科

寒い日が続きます。先月には数年ぶりの大雪にも見舞われ、インフルエンザも猛威をふるっています。今年の流行は数年ぶりの大きな流行にないそうです(図を参照)。雪道は危険ですし不要不急の外出は避けて温かい春の訪れを待ちましょう。



インフルエンザ 先月はA型インフルエンザ 93名、B型インフルエンザ 197名。坂井市では今(2月1日)が流行のピークみたいです。今年の特徴はA型、B型と一緒に流行している点です。1度インフルエンザに罹ったといっても安心できません。高熱でつらそうな時は医療機関の受診をお勧めします。

溶連菌感染症 先月は10名。丸岡町の一部の保育園と小学校で流行がみられました。典型例は、喉の痛み、熱、体や手足の発疹、舌はイチゴのようになります。嘔吐などの胃腸炎症状のこともあります。5~15歳の子どもが感染しやすいです。

手足口病 先月は2名。昨夏からだらだらと流行が続いていましたがようやく終息したようです。

RSウイルス感染症 先月は4例でした。流行はようやく終息したようですが1歳未満で高熱、咳が続くインフルエンザでもないというお子さんの中にはRSウイルス、ヒトメタニューモウイルスのこともあります。ご注意ください。

ヘルパンギーナ 先月は発生なし。

アデノウイルス感染症(プール熱) 先月は2名。夏かぜの一種ですがプールにはいらなくても飛沫感染でうつります。高熱とともに結膜炎を伴うことがあります。同じアデノウイルス感染症でも胃腸炎の場合には発熱もなく出席停止期間も違います。詳細は、「学校において予防すべき感染症の解説 (http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1334054.htm)」をご覧ください。

流行性嘔吐・下痢症 先月は55名。一時期、ウイルス性胃腸炎が一部の学校保育園で流行していました。

マイコプラズマ感染症 先月は1名。咳が強く熱もでることが多いですが時に微熱程度のこともあります。気管支炎として治療を受けていたが良くならない場合に疑います。

水痘 先月は発生なし。水痘ワクチンが定期化されて目立った流行はなくなりました。

おたふくかぜ 先月は1名。おたふくワクチンを1回うけているお子さんで症状は軽かったです。

風しん・麻疹 ここ1年以上発生なし。

つちだ小児科ホームページでは、毎週最新の感染症情報「流行っている病気」をお届けしています。感染症情報に加えて、感染予防対策についても書いていますので一度覗いてみて下さい。

インフルエンザ警報!!!

インフルエンザの出席停止期間の日数の教え方について

発症した後5日間経過し、かつ解熱した後3日経過するまで(小学生の場合2日)の両方を満たす期間が出席できません。以下の早見表を見て数えてみてください。

発症0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
発熱期間 1日の場合	発熱	解熱								出席可能
発熱期間 2日の場合	発熱	発熱	解熱							出席可能
発熱期間 3日の場合	発熱	発熱	発熱	解熱						出席可能
発熱期間 4日の場合	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱					出席可能
発熱期間 5日の場合	発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱				出席可能



うつさない!
うつらない!
ひろめない!
咳エチケット
手洗い・うがい

新しいおもちゃを紹介します!

テクノ ツールボックス



職員のひとこと

先月は感染性胃腸炎も流行していました。嘔吐や下痢が主な症状です。感染性胃腸炎の場合、最初の6時間ほどは最も吐き気が強く、水分を摂取しても嘔吐してしまいます。何度も嘔吐を繰り返していると必要な水分が体からなくなり脱水となってしまいます。嘔吐症状が出ている時は水分をとろうとして、お茶やジュースを大量に飲んでしまいがちですが、吐き気を誘発してしまいます。OS1などの経口補水液や白湯をペットボトルのキャップやスプーン1さじずつを10~15分おきに数回に分けて、徐々に間隔を短くして摂取してください。6~12時間以上嘔吐が続いたり、明らかな血便、黒色便、激しい腹痛、意識障害などの症状が見られる場合はすぐに医療機関を受診しましょう。